

【連携体の収支】(総括表)

連携体名:〇〇地域農泊連携推進委員会(〇〇〇〇地域協議会)【〇〇県〇〇市】

【記載例】農家民泊経営者等実施型の場合

○連携体の構成員

提案書に記載されている構成員名を記載する。なお、構成員名の後に( )書きでその構成員の役割を記載すること。  
例)農家民泊A(宿泊、体験)、農家民宿B(宿泊、体験)、〇〇地域協議会(連携体構成員間の調整)※地域協議会は必須。

農山漁村振興交付金(農泊推進対策)収支計画

(千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
宿泊①(農家民泊A)	0	0	4,000	4,000	R5.4供用 (農家民宿に転換)
宿泊者数	400	400	400	400	〇人×〇室(現況)→〇人×〇室
宿泊単価	0	0	10	10	朝夕食事付き
宿泊②(農家民宿B)	2,400	2,400	6,576	7,884	R5.4供用開始 (施設の質の向上)
宿泊者数	300	300	548	657	〇人×〇室(現況)→〇人×〇室
宿泊単価	8	8	12	12	朝夕食事付き
体験プログラム①	1,200	1,200	1,200	1,200	〇〇体験(農家民泊A)
参加者数	400	400	400	400	
単価	3	3	3	3	
体験プログラム②	900	900	1,644	1,971	〇〇体験(農家民宿B)
参加者数	300	300	548	657	
単価	3	3	3	3	
売上	4,500	4,500	13,420	15,055	
経費	4,900	4,900	10,697	11,269	
人件費	1,700	1,700	6,000	6,000	
・宿泊費分①			1,800	1,800	
(単位:人)			1	1	
・宿泊費分②	900	900	1,800	1,800	
(単位:人)	1	1	1	1	
・体験費分①	800	800	1,200	1,200	
(単位:人)	1	1	1	1	
・体験費分②			1,200	1,200	
(単位:人)			1	1	
販管費等	3,200	3,200	4,697	5,269	
・宿泊費分①	1,400	1,400	1,400	1,400	水光熱費,消耗品費,備品購入費,広告費,食材費 宿泊①売上の〇%
・宿泊費分②	1,000	1,000	2,302	2,759	水光熱費,消耗品費,備品購入費,広告費,食材費 宿泊②売上の〇%
・体験費分①	500	500	420	420	水光熱費,消耗品費,備品購入費,広告費 体験①売上の〇%
・体験費分②	300	300	575	690	水光熱費,消耗品費,備品購入費,広告費 体験②売上の〇%
補助金自己負担分					借入の返済(〇〇年償還)
火災保険料					
経常利益	-400	-400	2,723	3,786	事業完了翌年度(R5年度)迄に黒字を達成させる計画とすること。

施設整備事業を実施するためには、以下の3種類の収支の作成が必要です。

- ①整備する各施設ごとの収支(提案書【8の(3)収支計画】に記載)
  - ②連携体として今回整備する施設の農泊の取組の収支(本資料に記載)
  - ※ 提案書提出時点(R3年度)からの収支計算として整理してください。(農家民泊経営者等実施型の場合は、提案者が提案書提出時点ですでに農家民泊等を実施していることが実施要件とされているため)
  - ③連携体全体の農泊の取組の収支(提案書【9.収支見通し】に記載)
- よって、それぞれの収支は、①<②<③ となります。

【宿泊について】  
・改修する施設ごとに増加する宿泊者数及び宿泊単価(目標値)とするを改修施設別に各年度ごとに整理する。  
・施設供用開始予定年月を備考欄へ記載する。  
・宿泊者数は、改修前と改修後の変化が分かるように記載すること。

【体験について】  
・体験プログラム開発は3プログラム以内に集約し、各体験プログラムごとに収支を作成する。  
・なお、体験プログラム名及び内容は”桃収穫体験””稲刈り体験”等具体的に本表下部に記載する。  
・体験プログラムは提案書に記載されているものを全て記載するのではなく、今回施設整備を実施する農家民泊経営者等が提供するプログラムを記載すること。  
・各体験参加者数は、本取組により増加する人数を各施設ごとに年度ごとに記載する。

【人件費について】  
・農家民泊経営者等が自ら宿泊施設、体験プログラムの実施を行う場合の人件費を計上する。  
(体験プログラム実施に係る人件費については、各体験プログラムごとに作成すること。)

【販管費について】  
・農家民泊経営者等が自ら宿泊施設、体験プログラムの実施を行う場合に記載が必要となるが、食材費については宿泊施設が素泊まりである場合や体験プログラムに食材を要しない場合は記載不要。  
(体験プログラム実施に係る販管費については、体験プログラムごとに作成すること。)  
・記載例に従い、各々売上の〇%と記載すること。

【販管費等について】  
・販管費等は、以下に示す値が標準とされており、標準値を用いない場合はその根拠を備考欄に記載すること。  
  販管費(飲食を含まない場合):30%程度  
  販管費(飲食を含む場合):35%程度

【体験メニューの具体的内容】

- ①〇〇体験(実施主体 農家民泊A)  
農家の方々にガイド及び受け入れ先として協力いただき、果樹畑での収穫(柑橘類:ゆず等、スモモ)、地元農家や地元の方々との交流を楽しんでいただく。
- ②〇〇体験(実施主体 農家民宿B)